

会議名	第3回 港区立東町小学校施設整備計画策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年3月26日（木曜日）午後6時から午後7時30分まで
開催場所	6階 相隣相談室
委員	学識経験者 長澤悟（委員長） 学識経験者 倉斗綾子（副委員長） 学識経験者 喜名朝博（委員） 用地・施設活用担当部長 大森隆広（委員） 教育委員会事務局学校教育部長 茂木英雄（委員） 東町小学校長 川原哲郎（委員）
事務局	教育委員会事務局学校教育部学校施設担当 学務課施設計画担当
会議次第	1 ヒアリングの進行及び採点方法について 2 ヒアリング審査 ① ヒアリング(整理番号1) 3 第二次審査採点集計結果について 4 支援業務委託事業者の選考及び公表について 5 その他
配布資料	[席上配付] ・次第 ・資料1（ヒアリング審査評価シート） ・参考資料1（前回議事要旨） ・参考資料2（第一次審査採点集計表）
会議の内容	
委員長	～開会～ 只今から、第3回港区立東町小学校等施設整備計画策定支援業務委託事業候補者選考委員会を開会します。 事務局から資料説明をお願いします。
事務局	本日お配りした資料のご説明をいたします。まずは、本日の次第でございませう。資料1としてヒアリング審査評価シート、参考資料1といたしまして、前回会議録でございませう。続いて、参考資料2として、第一次審査採点集計表をお手元に配布してございませう。 配布資料の説明については以上です。
委員長	それでは、今回の審査の流れや選考方法について事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>「ヒアリングの進行及び採点方法について」ご説明いたします。ヒアリングの進行は事務局が行います。委員の皆様の準備ができ次第、この会場に案内します。ヒアリングでは、3名まで入室を許可しております。説明及び質疑応答は、総括責任者または意匠担当主任技術者の2名が行います。持ち時間は説明に15分、質疑応答に20分の計35分としております。時間の確認は事務局にて行い、15分、25分、35分経過毎に呼び鈴を鳴らし、合図をします。</p> <p>お手元のヒアリングシートをご覧ください。今回のヒアリングに関する評価項目は、4つポイントがございます。①業務に関する基礎知識、②業務に対する取組姿勢、③業務に対する理解力、④コミュニケーション能力についてです。AからCまでのいずれかひとつに丸をお付けください。配点についてはAから順番に10点、8点、6点、4点、一番評価の低いCは2点です。</p> <p>ヒアリング審査の採点につきましては、事業者のヒアリング終了後に別途時間を設けます。その後、今回のヒアリング審査の採点集計表をもとに、委託業者の選定の可否について決定していただきます。また、委員の皆様から各事業者の評価についてご意見をいただきたいと思っております。</p>
委員長	<p>それでは、ヒアリング開始の準備をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、ヒアリング審査を行います。</p>
A事業者	<p>(A事業者によるプレゼンテーション)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。それでは質疑応答の時間に入ります。</p>
A委員	<p>2点質問させてください。まず1点目です。誰もが安全・安心ということで、課題アー2のところにも説明があったとおり、今回の地域開放については1階に機能を集約する形で計画されています。ただ、部屋の構成をみると1階は日中、あまり子どもたちの活動が見られないフロアになってくるのではないかと思います。そこで、この1階の管理等について、どのような考え方で計画されているのかをお伺いしたいというのが1点目です。</p> <p>2点目は、教室がグラウンドに面する形で、職員室ですとか教室が西向きに配置されている点についてです。夏の暑さがかなり懸念されると思いますが、これについてどのような工夫を考えていらっしゃるのか、教えていただきたいと思っております。</p>

A事業者	<p>日中の管理については、港区の場合、主事室が関所のような役割を担い、そこでセキュリティを確保する体制が整えられていると認識しています。そのため、主事室を通過した方については、地域の子もたちや地域住民との交流が可能であると考えています。</p> <p>また、スマートキーに関する記載がイー3にあります。地域開放時の出入りについては、土日を含め、将来的にスマートフォンによるスマートキー認証が可能になれば、その活用も検討し得ると考えています。</p> <p>次に、西向き配置に関するご質問についてです。本計画の検討に当たっては、東向きと西向きのどちらとするかについて相当検討を行ったところですが、最終的には教室がグラウンドに向いていることが望ましいとの判断に至りました。</p> <p>そのため、ガラスフィルムによる日射遮蔽や、本パスにも示しているとおりルーバーによる西日の遮蔽といった方法を用いて、西日対策に対応していきたいと考えています。</p>
A委員	<p>もう1点質問です。資料の中央下に掲載されているパスについてですが、ガラスの向こう側に見える緩やかな階段状の構造が、図面上ではどの部分に該当するのかを確認したいです。</p>
A事業者	<p>第二音楽室設置を予定しているロールバックスタンド（折りたたみ式階段状観覧席）を表現したものになります。今回、音楽室は2室設けたいという要望があり、1室は3階に配置し、もう1室は1階に配置して広めのスペースを確保する計画としています。</p> <p>1階に設ける音楽室には、ロールバックスタンド（折りたたみ式階段状観覧席）を設置し、小規模なコンサート等にも活用できる空間とすることを想定しています。</p>
A委員	<p>玄関ホールに対してロールバックスタンドが広がっているイメージですか。</p>
A事業者	<p>そのようなイメージになります。図面で準備と記載されているスペースにロールバックスタンドを通常は収納しておき、そこから玄関ホール側に向けて、必要に応じて引き出して展開するというイメージで計画しています。</p>
C委員	<p>それでは、私から質問させていただきます。</p>

まず 1 点目です。港区という都心に立つ建物として、これからの学びの場づくりや地域との連携が非常に重要である一方で、街の景観を魅力的なものにしていくことも重要な要素だと考えています。

本計画は学校として高層化する建物であり、さらに2階にグラウンドを設ける構成となっていますが、資料1枚目の図を見ると、左側部分が大きな壁面として立ち上がっているように見える点が気になっています。こうした点も含め、街並みを形成する要素としての建物デザイン、建築物としての外観デザイン、高層建物としての景観的な配慮について、どのようなお考えをお持ちか伺いたしたいと思います。

続いて2点目です。具体的な学校内部の計画に入る前に、もう少し大きな視点で建築として伺いたいのですが、課題にもありますとおり、コストの抑制、いわゆるコストコンシャスな設計が求められると考えています。資料の比較の中でコスト的に有利な計画であるという説明をいただいています、トータルコストを抑制していくための具体的なアイデアや、コストコントロールの方法、これまでの経験を踏まえた工夫したい点などがあればお聞かせいただきたいと思ます。

最後に3点目です。同じく全体計画に関わる点として、校庭の計画について、現実的で適正な校庭を設定することと記載がありますが、これは具体的にどういったことを指しているのかご説明をお願いしたいと思います。

A事業者

まず 1 点目の景観に関する質問についてです。

港区という都心に建つ学校として、この地域のシンボルとなる建物にしたいと考え、現地にも複数回足を運びました。西側には先ほども話が出たようにルーバーが必要になるため、そのデザインについては周辺環境との調和を考慮して検討しました。校庭下部のオレンジ色の壁面については、近隣と接する部分が多いため、できるだけ目立たないようにしたいと考えました。

一方、東面は学校の顔になるため、子どもたちの活動が見えるようなデザインとする方針を示しました。また、最上階の体育館は大きな白い壁になることから、夜間開放時の光や利用時の音が近隣マンションに影響しないよう、北・南側は壁面とする計画としました。

次に2点目のコストコントロールについてです。

建物の平面形状や断面構成をできるだけシンプルにし、構造を簡潔にすることがもっともコスト削減につながると判断しました。工事費の約4割をどうしても躯体が占めるため、複雑な構造はコスト増につながるためです。あとは、土工事を抑えられるかどうかなども含めて

	<p>比較し、最もコストを抑えられると考えた計画を採用しました。</p> <p>また、学校建築は特殊な内装材・外装材を使用しなくても成立するため、材料の選定や工法の工夫によってコストをコントロールし、コスト削減につなげたいと考えました。</p> <p>最後に3点目の校庭計画についてです。</p> <p>現在はプレハブ校舎が校庭内に設置されていますが、それらを除いた広さを最低条件として検討しました。現状の校庭は約1,750㎡でしたが、計画では約2,300㎡へ拡張し、約1.3倍の広さにする計画としました。この規模が、現実的かつ適正な校庭面積であると判断しました。</p>
C委員	<p>もう一点伺います。</p> <p>この学校では、教室は2階以上に配置されている一方で、図書館が1階に設けられています。この配置の意図について、教えてください。また、学びの場や子どもたちの居場所づくりという観点から、図書館をどのように位置付けているのか、お考えがあればお聞かせいただきたいと思います。</p>
A事業者	<p>現在はタブレットが一人一台の時代となり、本に直接触れる機会が少なくなっている現状があります。そこで、子どもたちが自然と本に親しめるよう、メインで使う階段を図書館の下に配置し、図書館の様子を見ながら階段を利用できる動線にしたいと考えました。</p> <p>また、この学校のメインとなる特徴として「茶室」「国際学級」「図書」の3つを挙げたいと考えています。これらをセットで配置し、整えていきたいという思いがあります。以上の2点を理由として、この場所に配置しています。</p>
D委員	<p>何点か、細かいところで恐縮ですが確認させていただきたい点があります。</p> <p>まず1点目、1枚目右下の1階のイメージ図についてです。玄関ホールが広々として見えるのですが、実際にはエレベーターがかなり大きく、左側のイメージ図にもあるように、意外と圧迫感が出て見通しが悪くなる可能性があるのではと感じました。この位置に設置する必要性について、ご説明いただければと思います。</p> <p>2点目として、1階にあるこの学校のシンボルであるメタセコイヤについてです。一度移植して別の場所で育て、工事後に再び植え戻すという計画は、意外と大きな作業になるのではないかと感じています。これについて、過去のご経験や見通しを伺いたいと思います。</p>

	<p>最後に3点目、細かい点で恐縮ですが、2階の保健室の位置についてです。校庭に面していないこと、入口が1か所になるのではないかとこの点が気になっています。また、緊急搬送の場合、救急車は1階に来ることになると思いますが、エレベーターはストレッチャーが入るサイズになっているのか、車両が2階の校庭まで上がってくることは可能なのかについてもご説明をお願いしたいと思っています。</p> <p>A事業者</p> <p>まず、エレベーターについてです。車椅子を利用するお子さんや、怪我をして松葉杖を使用するお子さんの動線を考えると、できるだけ分かりやすい場所に配置したいという意図があります。その結果として中央付近になったというだけで、必ずしも真ん中に設置することを狙ったわけではありません。ただし、2階・3階・4階・5階の動線を踏まえると、良い位置なのではないかと判断しています。</p> <p>また、エレベーター周りを楕円形のデザインとしているのは、港区がみなとモデルという仕組みを持ち、木材活用を重視していることを踏まえ、特徴的な形状で木材を効果的に見せたいという考えからです。楕円形にすることで四角形よりも広がり生まれ、木の幹のようなイメージを演出できると考えて採用しています。</p> <p>次に、メタセコイヤの移植についてです。過去数年の間に、ヤマモモやヒマラヤスギといった高さ12mほどの大木を移植した経験があります。その際は、根切りや枝葉を減らす作業を行いながら、約3年ほどかけて移植を進めました。こうした実績がありますので、今回の移植についても対応できると見込んでいます。</p> <p>最後に、2階の保健室についてです。図では入口が1か所になってしまっていますが、実際には出入口を2か所設ける計画です。身体測定の際などに、ひと筆書きの流れの動線が必要かと思っておりますので、そのように考えています。</p> <p>救急車については、人の通常動線ではありませんが、緊急車両や工事車両が通行できるスロープを設けており、2階のレベルまで車両が上がるようにしています。</p> <p>保健室が校庭に面していない点にご懸念の通りですが、可能な限り校庭に近い位置を意識して配置しています。ただし、隣接する職員室や校長室との関係もあり、その中で最適な位置を選びました。また、スマイル学級との連携も考慮した配置としています。</p>
E委員	<p>ビオトープについても特徴的だと感じていますが、港区としてもビオトープを活用した環境教育を推進するように進めています。今回、校庭が2階にあり、ビオトープが1階に配置されるということで、子</p>

<p>A事業者</p>	<p>どもたちがどの程度自由に行き来できるのか、安全面も含めて考えたときに、どのような活用ができるのか少し気になっています。少し行きづらいのではないかと印象もあります。</p> <p>また、学級園のようなスペースについても、学校教育の中で生活科や理科の学習で使用し、必要になってくる部分があります。さらに、港区では土に触れる機会があまり多くないため、子どもたちが土に触れられる場所は重要だと考えています。そうしたスペースについて、何かお考えがあるのか伺いたと思います。</p> <p>まず、ビオトープに関しましては、1枚目の真ん中にある大きなスケッチの中に、少しだけ上総掘りの水車のようなものが見えると思います。校庭から、子どもたちが日常的に上総掘りやビオトープを目にすることができる、そんな環境になればいいなと考えています。</p> <p>また、隣に配置した曲面の階段については、災害時やイベント時には地域の方に利用していただき、普段は主に子どもたちが使うイメージで計画しています。そういう意味では、校庭での遊びの延長として上総掘りやビオトープが自然に目に入り、近くに感じられるような配置になると考え、この位置にしています。</p> <p>さらに、ビオトープの周辺には、学級菜園も設けられればと考えています。校庭の西側には倉庫やWC 近くの、木が3本ほどあるあたりに設置する案もありましたが、どうしても校庭の面積を狭めてしまう懸念がありました。そのため、上総掘り周辺に学級菜園をつくれればと考えております。</p>
<p>B委員</p>	<p>質問というよりは、この業務への取り組み方やお考えを伺いたと思います。東町小学校については、事前に現地をご覧いただき、しっかり調査もされているとうかがっています。今回掲げいただいている「伝統の未来が混ざり合い、世界とつながる学校」というコンセプトは、とても素晴らしいものだと感じています。一方で、伝統という部分についてお尋ねしたいのですが、以前に拝見した蔵前小学校の作品では、地域の伝統や特性を意識したデザインが随所に取り入れられていました。今回の東町小学校の施設や外観デザインについては、現段階の案だと思いますが、伝統という要素がどのような形で反映されているのかを教えてくださいたいと思います。また、今後、この学校ならではの伝統を感じられるような外観デザインの提案が、追加でいくつか示される予定があるのか、その点も含めてお聞かせいただければと思います。</p>

A事業者	<p>蔵前小学校を担当した者から回答させていただきます。こちらのデザインについては、設計事務所が何か一方的に提案したり、デザインを主導したりというよりも、地域の皆さんや台東区の方々から「どうい学校をつくりたいか」というご意見をいただいた際に、伝統を直接形に表したいという強いご要望があり、それを踏まえて私たちが考えさせていただいたものになります。</p> <p>ですので、今回も私たちがまったくのノープランというわけではありませんが、今後ワークショップの機会もありますので、そこで多くの皆さんのご意見を伺いながら、それらをしっかりデザインに反映していきたいと強く思っております。</p>
委員長	<p>時間になりましたので、これでヒアリングを終了します。お疲れ様でした。</p> <p>以上ですべての業者の第二次審査を終了します。</p>
委員長	<p>ヒアリングは終了しました。ここで5分程度、ヒアリング審査の採点時間並びに第一次審査及び第二次審査の採点見直しのための時間を設けます。再度、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元にあります A4 版・カラー刷りのヒアリング評価シートにつきまして、4項目それぞれを 10 点から 2 点の範囲でご評価いただければと思います。</p> <p>【プレゼンテーション及びヒアリング審査採点】</p>
事務局	<p>集計の時間の間、事業者の方へ委員の皆さまからご質問をいただいたところかと思いますが、所感をいただければと思います。</p>
E委員	<p>図書館の配置についてですが、現在のように入口付近にある形でよいのかという点に懸念があります。図書は学校の大切な財産であり、管理を十分に行わないと紛失につながる可能性があります。そのため、できれば学校の中央付近に配置されている方が、どの学年からも利用しやすく望ましいと考えます。</p> <p>また、休み時間に図書館を利用する児童も多いため、校庭と同じレベルにある、あるいはもう少し上階にあるなど、子どもたちがアクセスしやすい位置に配置されている方が動きやすいのではないかと思います。</p>

D委員	<p>最近では、図書館を「ラーニングセンター」や「メディアセンター」といった名称に変更している学校も多く見られます。しかし一方で、だからといって図書無くすわけではなく、必ずその場所に本を並べるといった考え方も引き続き重視されています。さらに、各階に少しずつ本を配置する学校も多く、子どもたちが日常的に本に触れられるよう工夫している学校もあります。</p>
A委員	<p>セキュリティの問題というよりも、1階が人の気配の少ない、人気のない雰囲気になってしまうのではないかと懸念があります。パースに描かれているように人が常に行き交う状況にはならないと思われ、実際には各教室に人がずっといるわけでもありません。音楽室についても、開放されていなければ人が集まりにくく、その周辺が寂しい印象になってしまうのではないかと感じています。</p>
C委員	<p>よく考えられており、十分に検討してきたという自信が伝わる点は評価できると思います。一方で、もう少し意見を取り込みながら計画をつくり上げていく姿勢があってもよいのではないかと感じました。</p> <p>例えば、最初に出たエレベーターの質問についてですが、エレベーターを必要とする子も他の子どもたちと一緒に動けるようにする、給食室に近い位置にする、といった考え方は理解できます。ただ、せっかく広い玄関ホールがあるのに、その中心にエレベーターを置くことで空間が分断され、通路が二つに分かれてしまい、少しもったいない印象があります。もう少し給食室側に寄せるなど、上階の構成を見ても調整ができそうだと感じました。</p> <p>そうした意味では、調整が可能であるという余地を示している点はプラスの評価につながりますが、これを変えたくないということであれば、少し困る印象もあります。</p>
B委員	<p>あくまでも今回はコンペではなく、設計事務所としての能力を確認するための評価を行っているものです。そのため、プランニングについては、必要に応じて柔軟に変更していくことが望ましいと考えます。</p> <p>私の認識では、子どもたちが日常的にエレベーターを使うことはあまりないのではないかと思います。商業施設などでは、大きなエレベーターが中心に配置され、その縦動線を軸に店舗が張り付くような構成になっていることがありますが、学校の場合、エレベーターがそこまで中心的な役割を担う必要はないと考えています。</p>

D委員	給食の配膳用としても使用する想定なのではないでしょうか。
B委員	給食室には、配膳用のエレベーターが別途設置されるはずです。そのため、エレベーターを真ん中に配置する必然性は、学校の場合、特にないと考えます。能力のある設計事務所なので、学校側と十分に話し合いながら、より適切な位置への調整が可能ではないかと感じています。
C委員	ここに配置したことについても、単に何となく置いたのではなく、しっかりとした考え方に基づいて決定しているという姿勢は評価できます。また、これまでの経験を踏まえれば、課題を示した際には、それを受けて新たな提案を行う能力も十分に感じられました。
E委員	光庭が2か所ありますが、実際どのような形になるのか気になります。上から下まで筒抜けの形状であれば、子どもたちが物を落とすようになってしまうのではないかと懸念しています。
B委員	今回のデザインについては、南麻布という地域性や伝統というキーワードを踏まえたときに、少しその結びつきが見えにくい印象があります。
C委員	今回の取り組みはコンペではありませんので、今後の工夫や検討によってより良いものにしていくことが前提であると理解しています。ただ、伝統という非常に良いキーワードを掲げている以上、今後どのようにその要素を取り入れていこうとしているのか、その方向性や姿勢がもう少し伝わってくると、より良かったのではないかと感じました。必ずしも完成した図を示す必要はありませんが、そうした点を意識しているという姿勢を示していたことは、評価できると思います。 この提案書については、課題自体はしっかり捉えられていると感じましたが、先ほども質問したように、回答の中にあつた「現実的で適正な対応を行う」といった表現だけでは、やや先送りのようにも受け取れてしまいます。これまでのご経験から、例えばどのような方法で対応してきたのか、といった具体例を少しでも示していただければ、より説得力が増したのではないかと感じました。
B委員	アイデア自体はいろいろお持ちなのだろうと思いますが、全体としては、若干消化しきれていない印象がありました。やや消化不良の

事務局	<p>ような部分が見受けられたのではないかと感じています。</p> <p>今回、委員の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、今後、学校施設に関するプロポーザルがある際には、今回いただいた指摘を参考にして改善していきたいと考えています。今回は提出枚数が2枚という限られた中で、多くの課題を提示したこともあり、できる範囲で整理していただいたものとは理解していますが、資料にさまざまな情報を詰め込みすぎたことで、具体的な部分がやや見えづらくなってしまったという点は、事務局としても課題であると認識しています。</p> <p>そのため、今後は課題の整理の仕方や資料の枚数について、もう少し柔軟に対応できる形を検討していきたいと考えています。</p>
C委員	<p>基本的な大きな骨格については、先ほどA委員からもご指摘があったように、1階で時間帯によって人の気配がなくなってしまう懸念があります。その点については、1階にどのように人の流れや滞在を生む要素を配置していくか、検討が必要だと思います。</p> <p>一方で、全体として動線や配置計画はしっかりと整理されており、この骨格を踏まえて今後さまざまなアイデアを加えていけば、問題なく、運営しやすい学校となる提案になっていると感じます。</p> <p>敷地条件が非常に厳しい点ではありますが、建築的には、可能であればもう少し外に開いた構成が望ましいという印象もあります。教室の並びも敷地幅いっぱい配置されており、その点でも計画上の制約は大きいと感じました。</p>
A委員	<p>いわゆる「室」と呼べる部分以外は、ほとんどが廊下としての機能しか持たなくなっている状況です。</p>
事務局	<p>校庭自体が現在も十分な広さが確保できていない中で、少しでも広く利用できるよう、2階部分に校庭を配置したのだろうと考えています。しかし、校庭を広く確保した結果、逆に建物側のボリュームがかなりコンパクトになりすぎてしまっている印象があります。</p>
C委員	<p>私の見立てとしては、普通教室の前が黄色で、その手前をクリーム色で示していますが、このクリーム色の部分も、本来は教室の延長として黄色にしてよいのではないかと考えています。そのうえで、左側の特別教室側と緑色で示された廊下を、横方向に移動する際のメイン動線として位置づける形です。</p> <p>そうすると、特別教室群はいわば「店舗」のような位置づけとなり、</p>

	<p>緑色の廊下は特別教室というお店が並ぶ「ショッピングモール」のような役割を果たすこととなります。一方で、普通教室の前は、このプランでも通過動線にならないように計画されていますので、教室側の領域は黄色で示して問題ないように思います。</p> <p>このような見立てをもとに空間構成を見ると、各エリアの特徴づけがより明確になり、学校全体として魅力ある空間になる可能性を持っていると感じました。</p>
事務局	<p>先ほど委員から光庭についてのご質問がありましたが、今回の計画では、今後の港区における人口増に対応するため、各学年4クラス、計24学級を想定していたのではないかと考えています。現在、普通教室が18教室ありますが、将来的には多目的教室等を普通教室へ転用できるような構成が意図されており、その際、採光や排煙の確保といった基準を満たす必要があるため、光庭を設ける計画になったのではないかと考えられます。</p>
B委員	<p>この光庭については、将来的に床を張れるような構造的な備えをしておいた方がよいのではないかと考えます。</p>
C委員	<p>光庭については、建築的には残しておいた方がよいのではないかと感じています。光庭がない場合、空間が非常に息苦しい印象になってしまう可能性がありますし、オフィスビルのような雰囲気になってしまう懸念もあります。</p>
事務局	<p>80㎡という広めに確保した普通教室の場合、その分、廊下が狭くなってしまいうため、各教室の前に圧迫感が生じることが考えられます。光庭によって、そうした圧迫感が多少軽減される効果は期待できますが、中央部分については、やはりかなりタイトな印象が否めません。</p>
B委員	<p>逆に申し上げますと、将来的な人口増加に伴う教室数の確保や、今後展開される多様な授業科目への対応など、学校として必要なスペースが不足する事態にならないかという点が気になります。港区のこれまでの状況を見ても、整備した直後に教室不足が生じるケースがあり、その点は懸念されます。</p> <p>別棟での増築であれば比較的対応しやすいのですが、このような一体型の校舎では、現在の建築基準法のもとでは増築がほぼ困難であるため、その点も踏まえた計画が必要だと考えています。</p>

事務局	<p>実際に、3年ほど前に建設された赤羽小学校と芝浜小学校では、どちらも開校して数年のうちに普通教室が不足し、理科室を普通教室へ転用するなどの対応が続いています。</p>
B委員	<p>この敷地の中で、プレハブ校舎を建てようとしても、設置できるスペースはありません。そのため、光庭を設けるのであれば、将来的にも確実に残して活用できる形にしておく必要があると感じます。</p> <p>港区の場合は、さまざまな場所で再開発が進められています。ただ現在は、物価上昇や人手不足などの影響で、再開発が思うように進んでいないのが実情ですが、開発事務所によれば、区内はどの場所も将来的にはすべて開発予定地である、という状況だとのこと。</p>
C委員	<p>再開発による人口増加の可能性を考えると、5階のイメージ図にあるように、アリーナが3階ほどの高さを持ち、その右側に1階分の高さのスペースがありますが、この部分に将来的に教室を増設できるよう、当初から計画に組み込んでおく必要があると考えます。</p> <p>現在の計画のままでは、小手先の対応では教室数は確保できません。光庭を単に埋めて教室化することは、採光面積が確保できず、建築基準法上も普通教室として成立しなくなってしまいます。つまり、その場合は光庭部分を教室として使うこと自体が不可能になってしまいます。</p> <p>そのため、見晴らしホールや機械室といった、建物の魅力や機能を担っている部分ではあるものの、将来的な教室不足の可能性を見据え、当初から5階部分に部屋を増設できる余地を仕込んでおくことが重要だと考えます。</p>
B委員	<p>そうですね、その方法は良いかもしれませんが、また、学校には採光が必ずしも必要ではない部屋もありますので、採光が確保できない部屋については、そうした用途に充てるという考え方もあると思います。逆に、現在採光を十分に確保できている部屋を普通教室に転用するといった方法も検討できるのではないのでしょうか。いろいろなやり方が考えられますので、その点も含めてよく検討していただければと思います。</p>
C委員	<p>皆様のご意見を伺う限り、このコンパクトなプランの中でも、まだ改善の余地は十分にあり、検討の幅は残されていると感じられます。その点については、事業者の方にもきちんとお伝えいただければと思います。</p>

事務局	承知しました。いただいた意見を踏まえ、検討してまいります。
B委員	<p>港区の六本木といえば、六本木ヒルズやミッドタウンがあり、まだまだ空いている土地も多く見られますが、あれらはすべて開発予定地とされています。</p> <p>港区では、2050年に向けた人口の将来予測を立てており、令和32年頃までは人口が増え続け、その後の動向についても見通しが立ちにくい状況です。予測では、現在の約27万人から最大で37万人程度まで増加すると見込まれており、全体として約10万人増える計算になります。</p> <p>人口構成としては、高齢者の増加が最も大きいと予想されていますが、高齢者だけでなく、生産年齢人口や年少人口もまんべんなく増加する見込みです。特に児童数については、2050年頃までに現在より20数パーセント増えると見込まれており、年少人口のピークもそのあたりに到達すると予測されています。</p> <p>23区全体でも人口は増加傾向にあり、これまでで最多となっていますが、多くの区ではまもなく頭打ちになると言われています。一方、港区については引き続き増加が見込まれています。</p>
委員長	<p>今回の提案はコンパクトな構成でありながら、課題を的確に捉えて検討されている点が評価できます。一方で、委員の皆様から出されたアイデアを含め、まだ改善の余地は十分にあり、特に教室数の問題などは、今後の重要な課題としてしっかり押さえていただきたいと思えます。これらの点については、事業者にも確実に伝えていただければと考えています。</p> <p>この計画をベースにしながら適切に整えていけば、十分に可能性のある提案に発展していくと感じています。</p> <p>それでは、皆様からご提出いただいたヒアリング評価シートの集計結果が出ましたので、結果発表および講評へ移りたいと思えます。事務局から点数についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お配りした「ヒアリング審査集計表」の中段をご覧ください。委員の皆様には、各項目について10点満点・合計40点満点でご記入いただいております。その結果を踏まえ、一次審査の点数と合算したものが最終的な合計値として算出されています。</p> <p>なお、最低得点による足切り等の基準は、今回設定しておりません。</p>

委員長	<p>ご覧のとおり、今回のヒアリングにおける評価点数の合計がこちらの結果となっております。この結果を踏まえ、支援業務委託事業者の選考に入りたいと思います。これより、各委員の皆様へ順番にご発言いただき、事業者に対する評価やご意見を伺いながら、最終的な選考を決定していきたいと考えております。</p>
A委員	<p>学校計画に関しましては、これまでの実績からも慣れている事業者であることが分かりました。また、今回は整備計画の策定支援という位置づけであり、このままの形で建設されるわけではないという前提のもと、先ほどの議論にもあったように、相談しながら修正していくべき点は多々あると思いますが、その対応能力については十分であると感じました。</p> <p>以上を踏まえ、採用でよいのではないかと考えます。</p>
B委員	<p>得点は、満点に対して何パーセントになりますか。</p>
事務局	<p>一次審査は満点に対して約 83%、二次審査は約 88%となっております。</p>
B委員	<p>最終的には、いずれも 8 割を超える非常に高い得点となりました。得点が示すとおり、非常に期待できる事業者であると考えています。さまざまなアイデアもお持ちですので、今後の設計段階では、今回の業務の中でそのアイデアを十分に生かしていただけるものと期待しています。私としては、十分に対応できる事業者であると認識しています。</p>
F委員	<p>今回、普通教室もゆとりあるもの、子どもたちの居場所づくり、茶室、国際学級、新しい時代の学びといった多様な要素を盛り込むことを求めていましたが、この不整形な敷地の中で、事業者の方は非常によく考えて提案をまとめてくださったと感じています。</p> <p>先ほど皆さんからもご意見があったように、実際に整備内容を検討していく段階では、レイアウトも含め、学校側の意見を丁寧に聞きながら進めていく必要があります。その過程で、こちらから出す様々な要望についても、真摯に受け止め、しっかり対応してくれるのではないかと考えています。</p> <p>これらを踏まえ、今回こちらが目指している計画の実現に向けて、十分に期待できる事業者であると考えております。私としても、この事業者で問題ないと判断いたしました。</p>

E委員	<p>斬新な考えも取り入れられており、とても前向きな姿勢や意欲を感じました。これから子どもたちとも連携しながら、みなとプロジェクトのような形で、うまく進めていくことができるのではないかと期待しています。そうした取り組みが実現していけば良いと感じています。これまでの経験に加え、この意欲を評価し、今回の事業者は適任であると考えました。</p>
D委員	<p>これだけ限られた敷地の中で、多くの条件がある中でも、しっかりと応えようとしてくださっている姿勢を感じました。実際に整備を進める際には、子どもたちの動線や動きがどうなるか、特に廊下の狭さなど気になる点もありますが、そのあたりは引き続き検討が必要だと思います。</p> <p>また、メタセコイヤの移植についても心配していましたが、これまでに同様の実績があるとのことで、十分に対応できる事業者ではないかと感じました。</p>
C委員	<p>提案書を拝見し、課題に対して具体的なアイデアを持っており、さらにそれを今回の業務の中で実現可能な形へまとめ上げていくことが求められますが、その点については、皆さんがおっしゃっていたとおり、意欲・経験・理解度のいずれも高く評価できると感じました。</p> <p>本日うかがった中で、課題に対して項目としては示されているものの、回答がやや抽象的にとどまっている部分もありましたが、その具体化こそが今後の業務の重要な役割だと思います。課題を適切に捉えている点からも、今後の業務を任せる上で信頼できる事業者であると考えます。</p>
委員長	<p>各委員の皆様からコメントをいただきましたが、いずれのご意見からも、事業者のやる気や経験が十分に感じられ、期待できるとの評価が示されました。</p> <p>以上を踏まえ、整理番号1番、すなわち本日説明を行っていただいた事業者を、委託事業候補者として決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>【全員異議なし】</p> <p>それでは最後に今後のスケジュールについて事務局からご説明をお願いします。</p>

事務局	<p>本日の結果に基づき、第二次審査の結果を事業者へ通知いたします。その後、区の業者選定委員会において審議を行い、契約額についての交渉を経て、正式に契約を締結する予定です。</p> <p>また、今回のプロポーザルに関する会議録および講評内容につきましては、事務局にて取りまとめたうえで、委員の皆様にご確認いただいた後、契約締結後に港区ホームページ上で公開する予定です。</p>
委員長	<p>説明は終わりました。特になければ、これで閉会いたします。皆様ありがとうございました。</p> <p>～閉会～</p>